大阪大学大学院医学系研究科　小児科学

自主臨床研究

血液腫瘍・免疫グループ

小児急性骨髄性白血病難治例の前方視的観察研究：AML-R15

研究の対象	本研究の対象は、初発時 18 歳未満かつ再発時 25 歳未満の再発小児AML 患者および診断時年齢18 歳未満の初回寛解導入不能であった初発AML 患者。de novo AML、APL、ML-DS 全て対象とする。また複数回再発と二次性AML は対象外とする。
研究目的・方法	小児AML の難治例(再発例および寛解導入不能例)の臨床情報、細胞遺伝学的情報およびMRD を検討して新たな予後因子を探索する。さらに、試料をバンキングすることで細胞遺伝学的な病態明を目指す。
プライバシーの保護	登録患者の氏名は参加施設からデータセンター等に知らされることはない。

お問い合わせ先
大阪大学病院小児科
宮村能子